

「生活者としての外国人」のための日本語教育ワークショップ
(第3分科会) 2014年10月25日 大阪

日本語学習ポートフォリオを 活用してみよう

— 移動する学習者のための日本語能力評価 —

金田智子(日本語教育小委員会委員, 学習院大学)

第3分科会の目的

- ・文化庁が提案する「日本語学習ポートフォリオ」の基本的な考え方(役割)を理解する
- ・「日本語学習ポートフォリオ」を構成するものを知る
- ・「学習の記録シート」を具体的に検討し、ポートフォリオについての理解を深める

第3分科会の内容

1. 5点セットについておさらい
2. 日本語能力評価 の考え方について
3. 日本語学習ポートフォリオ を見てみよう
4. 毎回の 学習の記録シート を考えてみよう
5. まとめ・質疑応答

第3分科会の流れ

1. 本日のキーワードについて
2. 5点セットについておさらい
3. 日本語能力評価 の考え方について
4. 日本語学習ポートフォリオ を見てみよう
5. 毎回の 学習の記録シート を考えてみよう
6. 質疑応答
7. 再び、本日のキーワードについて
8. 振り返り・まとめ

1. 本日のキーワードについて

日本語学習ポートフォリオを 活用してみよう

—移動する学習者のための日本語能力評価—

Q. 青字の言葉について、今、どのようなイメージや考えを持っていますか。どのように理解していますか。

「移動する学習者」?

- ・職場を移動する、住まいを移動する、地域を移動する
- ・日本語教室を移動する
- ・出国し、時を経て、再び入国する
- ・日本語教室を去った人が、時を経て、戻ってくる
 - * ライフステージの変化を伴う

<課題>

- 学習の継続が難しい
- 学習の記録、証拠が残りにくい
- 学習者の成長／状況<ニーズ等>が把握しにくい

日本語学習ポートフォリオを 活用してみよう

— 移動する学習者のための日本語能力評価 —

Q. 青字の言葉について、今、どのようなイメージや考えを持っていますか。どのように理解していますか。

まず書いてみる ⇒ 他と比べながら考える

2. 「5点セット」について

☆ハンドブック(報告書全体の確認)

1. 標準的なカリキュラム案(何を学び教えるか)
2. ガイドブック(いかに学び教えるか)
3. 教材例集(いかに学び教えるか)
4. 日本語能力評価(学びをどうとらえるか、どう促すか)
5. 指導力評価(教えること／学びを支えることをどうとらえるか、どう促すか)

前提

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標

<目的>

言語・文化の相互尊重を前提としながら、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り、生活できるようになる

<目標>

- 日本語を使って、健康かつ安全に生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、自立した生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、文化的な生活を送ることができるようにすること

ことばの整理(ハンドブックP.3)

- 指導者、コーディネーター、協力者
- 生活上の行為
- 能力記述
- 行動・体験中心の教室活動
- PDCAサイクル

3. 日本語能力評価の考え方について

地域の日本語教室で「日本語能力評価」？

- ・筆記テスト？
- ・口頭能力テスト？
- ・「生活者としての外国人」の日本語能力を評価？
- ・日本人住民が外国人住民を評価？
- ・どうやって評価？
- ・そもそも「日本語能力」って何？
- ・なぜ、評価が必要？

「日本語能力評価」の位置付け

日本語教育プログラムの一環

学習者自身にとって

○日本語能力(生活場面に密着したコミュニケーションができるようになったか)の把握、日本語学習の振り返り、今後の学習計画の判断材料

動機維持
学習継続
自律的学習

指導者にとって

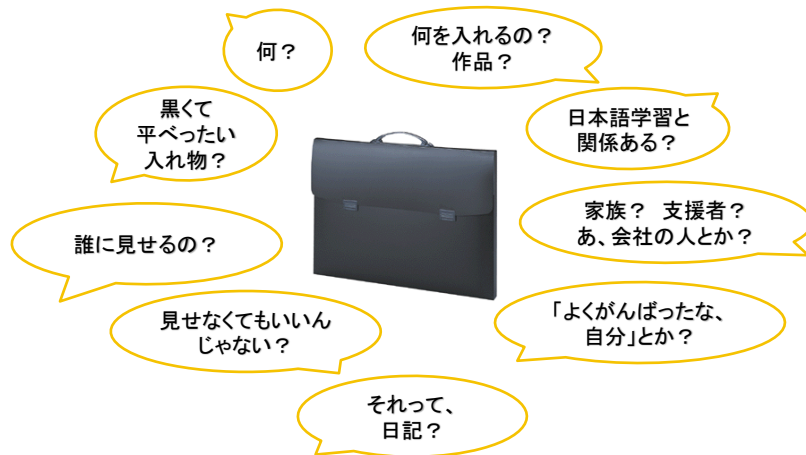
○プログラム改善のための情報を得る<指導者の責務>

「生活者としての外国人」に対する日本語能力評価 ： 基本的な考え方

能力評価の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者:自身の学習状況を把握 ・学習者:日本語学習を継続 ・指導者:より適切な指導 <p><タイミング>教育実践の過程で(実施前・中・後) * 見通し/目標設定、振り返り、今後の展望</p> <p><形態>ポートフォリオ評価</p>
評価者	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価(学習者)と他者評価(指導者を想定) <p>☆評価結果のズレに関するやりとりも重要</p>
評価の観点	<p>日本語を用いて「生活上の行為」ができるようになったか(達成度)</p> <p>△日本語に関する知識や情報の量・理解度</p> <p>・行動範囲、生活の幅、社会参加にいかにつながったか</p>
評価の枠	<ul style="list-style-type: none"> ・「一人で行えるか」「助けが必要か」 ・4段階「よくできた」「できた」=1人で行える 「何とかできた」=助け(配慮)があればできる 「もう一息」=できるとは言えない
評価の手続・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイトスク等に基づき、結果を記録 ・日本語学習、使用の実態を学習者自身が随時記載 <p>⇒ポートフォリオに</p>

4. 日本語学習ポートフォリオを見てみよう

「ポートフォリオ」?



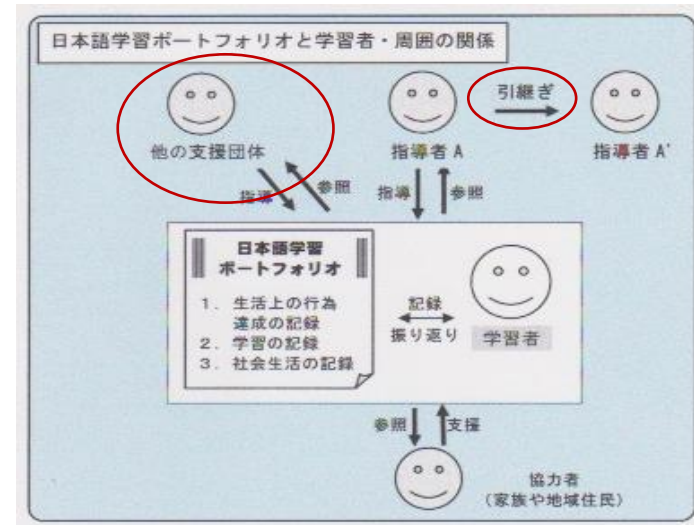
教育場面における「ポートフォリオ」

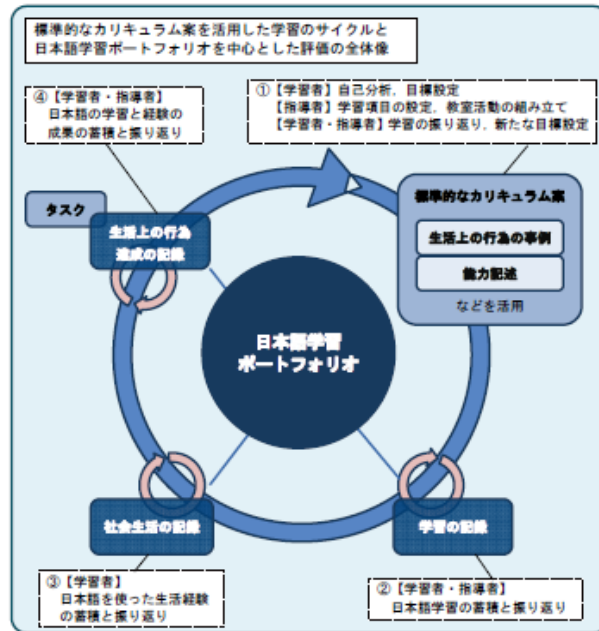
- 学びの記録
- 何を学んだか、どう学んだか(結果と道筋)が見える
- 「部分」であっても、ある人の学びの「総体」が過不足なくわかる
- 達成感とやる気の循環を促す
- 継続的な学び、自律的な学びを促す
- 継続的・自律的に学ぶ力を育てる
- 第三者にも理解できる
- 第三者も活用できる

「日本語学習ポートフォリオ」の構成

1. 生活上の行為達成の記録
 - ・現状把握、学習目標設定、見通し
 - ・「達成」の記録
 - ・学習の振り返り、成長の確認
 - ・今後の展望・計画
2. 学習の記録
 - ・毎回の学習活動の記録、振り返り、改善
3. 社会生活の記録
 - ・日本語使用の記録

日本語学習ポートフォリオの活用





生活上の行為達成の記録(例)

生活上の行為	4技能 /情報	年月日	場所 (教室名)	私の 評価	指導者の 評価
I 健康・安全に暮らす					
01 健康を保つ					
(01)医療機関で治療を受ける					
01 隣人に容態を伝えて助言を求める	話聞			◎ ○ △	◎ ○ △
02 初診受付で手続をする	話聞読書			◎ ○ △	◎ ○ △
03 医師の診察を受ける	話聞			◎ ○ △	◎ ○ △
04 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する	話聞			◎ ○ △	◎ ○ △
<医者とやりとりをする> 03 医師の診察を受ける 04 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する	話聞			◎ ○ △	◎ ○ △
(02)薬を利用する					

2回 記載可能

生活上の行為達成の記録(例)

:現状を把握し、学習を計画する。終了後、振り返る。



学習院大学で学ぶ「わくわくとしま日本語教室」
学習の計画・振り返り
学习计划・反思
Study plan・Reflection



テーマ 主題 Subject	学習項目 学习项目 Content	現状 现状 Now ◎○△	受講 予定日 听课预 定日 Class	受講後 听课后 After class ◎○△	講師より 老师评价 Instructor
地震・台風について知る 地震/台风 earthquakes and typhoons To know earthquakes and typhoons	地震・台風の基礎知識を知っている 知道地震/台风的基礎知識 Understanding basic knowledge about earthquakes and typhoons	◎			
	テレビやラジオのニュースで、地震や台風についてのキーワードがわかる 通过电视、广播的新闻能理解地震/台风的关键词 Understanding keywords about earthquakes and typhoons from TV or radio	○			
	災害に関する情報を、テレビやラジオから得ることができる 能通过电视或广播获取灾害的相关信息 To get information about a calamity on TV or radio	○			
避難する 避埋 To take shelter	地震が起きたときに適切な行動が取れる 地震的时候能采取相应行动 To take suitable action when an earthquake or a fire occurs	○			

『平成25年度学習院大学わくわくとしま日本語教室実施用資料集』より

生活上の行為達成の記録(例)



学習院大学で学ぶ「わくわくとしま日本語教室」
学習の計画・振り返り
学习计划・反思
Study plan・Reflection



テーマ 主題 Subject	学習項目 学习项目 Content	現状 现状 Now ◎○△	受講 予定日 听课预 定日 Class	受講後 听课后 After class ◎○△	講師より 老师评价 Instructor
地震・台風について知る 地震/台风 earthquakes and typhoons To know earthquakes and typhoons	地震・台風の基礎知識を知っている 知道地震/台风的基礎知識 Understanding basic knowledge about earthquakes and typhoons	△	11/20	◎	PREGLAY 11/20
	テレビやラジオのニュースで、地震や台風についてのキーワードがわかる 通过电视、广播的新闻能理解地震/台风的关键词 Understanding keywords about earthquakes and typhoons from TV or radio	△		◎	PREGLAY 11/20
	災害に関する情報を、テレビやラジオから得ることができる 能通过电视或广播获取灾害的相关信息 To get information about a calamity on TV or radio	△		◎	PREGLAY 11/20
避難する 避埋 To take shelter	地震が起きたときに適切な行動が取れる 地震的时候能采取相应行动 To take suitable action when an earthquake or a fire occurs	△	11/20	◎	PREGLAY 11/20
	目標に達した証拠がある 有达到目标的证据 There is evidence of reaching the goal	△		◎	PREGLAY 11/20

『平成25年度学習院大学わくわくとしま日本語教室』資料

5. 毎回の学習の記録シートを考えてみよう

学習の記録シート(例)

Q.使えそうですか。

Q.達成感・動機維持
につながるでしょう
か？


【今日 学習したこと】		
月	日	曜 日
		指導者の名前
(1)	今日のテーマ	
(2)	新しく覚えたことば	
(3)	新しく覚えた文	
(4)	これから学習したいことばや文	
(5)	今日のテーマはどうでしたか。	
	指導者のコメント	

次のページに、今日の教室で使ったプリントなどを、とじておきましょう。

学習の記録シート(例)

Q.使えそうですか。

Q.達成感・動機維持
につながるでしょう
か？



学習院大学で学ぶわくわくとしみ日本語教室
活動記録
Activity Record


テーマ (5) : ゴミ箱/ 処理場/ Garbage etc.
主眼 (Subject) : ①ゴミ出しのルール・マナーを知る/ 知識的授業の構成、規則/
The rules about garbage disposal

【今日 学習したことを振り返りましょう】
【来週も今学習した内容を】
【Let's look back on today's study】

月 日 期	曜日 Date	講師の名称 講師 Name of instructor 講師	講師の評価 自己評価 Self-evaluation	講師の評価 教師評価 Teacher's evaluation
学習項目 Content				
パンフレット、紙類、書籍などの情報収集を することができた To get information from a pamphlet, public relations, and a notice			☹️ ☹️ ☹️ ☹️ ☹️	☹️ ☹️ ☹️ ☹️ ☹️
ルール通りにゴミを出すことができる To throw out the garbage following the rules			☹️ ☹️ ☹️ ☹️ ☹️	☹️ ☹️ ☹️ ☹️ ☹️
ゴミの処理場について人に聞くことができた Ask people how to throw out the garbage			☹️ ☹️ ☹️ ☹️ ☹️	☹️ ☹️ ☹️ ☹️ ☹️

☹️ よくできた很好 Well done
😊 できた好 Can do
😞 がんばろう加油 Keep going

表のページに、各自買ったプリントを入れておきましょう。
今天課的資料装订起来吧
Bind handouts in the file.



達成感・動機維持につながる 「学習の記録シート」に必要な要素は？

✓ 書きやすさ

- ✓
- ✓
- ✓
- ✓
- ✓
- ✓
- ✓

○具体的に作ってみましょう！

達成感・動機維持につながる「学習の記録シート」にするために 一分科会参加者の方々のアイデア

ア. ゼロ初級の学習者は、マーク・絵でチェック

イ. 書くのが苦手、億劫な学習者には？

(案1) マーク、絵を活用。

(案2) 質問を具体化する

例 △「どうでしたか」⇒ ○「できましたか」「おもしろかったですか」

ウ. 書きたい人には文字で記録できる欄を用意しておく。

エ. 指導者の「コメント」も重要

オ. 「学習したいこと」はなかなかうまく書けない。書いたとしても、指導者が応えられない場合があり、学習者にフラストレーションになる。どうするか？

(案) 学習したいことをゼロから全て学習者自身が示すのではなく、ある

範囲の中から選べるように(PFの「生活上の行為達成の記録」の活用)

カ. 「新しく覚えたことば」「～文」などは、あらかじめ、記録用紙に記載しておき、それについてチェックするという方法もあるだろう。

ポートフォリオについての参加者からの意見・感想 (1)

<意義>

・少ない授業時間を割いてまで振り返りをするのは、もったいない？効率的なフォームが必要

<教育そのものの改革>

・日本語の学習方法を見直すのが先決では(特にゼロ)。テキスト依存から運用主体へ。

<事例の共有>

・アナログな現場に届く情報提供をしてほしい

・「生活者」というレベルをどこに設定するのは難しいが、ゼロレベルを想定した教材や方法論についてはあまりないと思う。

・全容がつかめない

・ある程度定められたものがあれば、ネットワーク内で活用したいが・・・。

・教室内での共有もできていないので難しい

・レベル別に分けた事例を作成してほしい。

・PFを使ってもうまくいっている事例を知りたい

ポートフォリオについての参加者からの 意見・感想（2）

<運用面>

- ・評価のタイミング、時間の配分がむずかしい
- ・学習者のレベル別シートを作る
- ・ゼロ初級に対してどうすべきか。
- ・初心者には母語または一緒に。絵を多く。
- ・ポートフォリオの保管について。誰がどのように保管するのがいいのか。プライバシーの問題は！？
- ・ファイルの電子化が必要では？
- ・スマホアプリでポートフォリオを開発してほしい

6. 質疑応答

7. 再び、本日のキーワードについて

「ポートフォリオ」
「日本語能力評価」

Q. **今**、この言葉について、どう考えますか。

8. 振り返り・まとめ

Q1. 「ポートフォリオ」は身近になったでしょうか。

Q2. 教育の一環として、「日本語能力評価」の視点を「生活者としての外国人」の日本語教室に導入できそうでしょうか。

Q3. 「ポートフォリオ」を実施する上での課題や困難点は何でしょうか。

Q4. 「ポートフォリオ」を実施したら、どんないいことがありますでしょうか。

今後に向けて

- 「日本語学習ポートフォリオ」の実践例の共有
- 「日本語学習ポートフォリオ」の検証
- 「日本語学習ポートフォリオ」の共有化、ネットワーク化 等